

診断書等をご準備ください

① 本人情報シートを準備する

- (1) ご本人の福祉関係者（ケアマネジャー、ケースワーカーなど）に「本人情報シート」への記載を依頼してください。
【福祉関係者に渡すもの】
 - 「本人情報シート」の作成を依頼された福祉関係者の方へ」（黄色紙）
 - 本人情報シートの書式
- (2) 作成された「本人情報シート」のコピーを1部準備してください。
 - * 「本人情報シート」とは、ご本人を日頃から支援している福祉関係者が、ご本人の生活状況等に関する情報を記載するためのシートです。
 - * 医師がご本人の判断能力について診断をする際の参考資料としたり、裁判所がご本人の判断能力やご本人に必要な支援を考えたりするための資料として活用します。
 - * 福祉関係者の支援を受けていない場合など、「本人情報シート」の作成を依頼できる方がいない場合は、各市町村の社会福祉協議会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等が運営する権利擁護支援センター、中核機関等にご相談いただき、できる限りご準備いただくようお願いいたします。
 - * 「本人情報シート」が準備できなくても、診断書の作成を依頼することができます。

② 診断書（成年後見制度用）を準備する

主治医に診断書（成年後見制度用）・診断書付票の作成を依頼してください。

【主治医に渡すもの】

- 「診断書（成年後見制度用）を作成される医師の方へ」（青色紙）
- 診断書（成年後見制度用）・診断書付票の書式
- ①で作成された「本人情報シート」（原本）（作成後1か月以内）
- * 診断書の作成を主治医に引き受けてもらえない場合には、他の医師に依頼していただいても構いません。

③ 家庭裁判所へ申立てをする

【裁判所に提出するもの】

- ②で作成された診断書・診断書付票（原本）（作成後3か月以内）
- ①で作成された「本人情報シート」（コピー）
- * 診断書の「3 判断能力についての意見」の欄の記載を参考にして、成年後見のどの類型で申し立てるかを検討し、裁判所に申立てをしてください。

類型判断の目安

- ・「支援を受けなければ、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することが難しい場合がある」
→ 補助開始の申立て
- ・「支援を受けなければ、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することができない」
→ 保佐開始の申立て
- ・「支援を受けても、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することができない」
→ 後見開始の申立て

- * 診断書（成年後見制度用）・診断書付票、「本人情報シート」以外の申立てに必要な書類については、【申立ての手引】を確認の上、ご準備ください。
- * 申立て後、必要に応じて鑑定が行われます。鑑定の説明は、【申立ての手引】をお読みください。